

事業者排出量削減計画書(新規・変更)

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地					
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	口東精工株式会社 代表取締役社長 塩田 展康					
事業者の主たる業種	ボルト・ナット・リベット・小ねじ・木ねじ等製造業 (2581)					
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者(大規模エネルギー使用事業者(原油に換算して1,500キロリットル以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者(大規模運送事業者(トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者(その他の温室効果ガスの大規模排出事業者(二酸化炭素に換算して3,000トン以上))					
計画期間	平成20年4月 ~ 23年3月					
基本方針	不良率の削減、再加工の削減、廃棄物のリサイクル化によって二酸化炭素をエネルギーの使用に係る原単位で毎年1%づつ削減する。					
推進体制	ISO14000環境管理組織の小委員会組織、温暖化対策委員長を本部長とする温暖化対策委員会で実施計画の策定し、全社の省エネを推進する。					
	環境マネジメントシステム名称	ISO 14001				
	適用範囲	本社工場・八田工場				
年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	取得年月日	2000年5月19日				
	年度	設備、対象、工程等	計画内容			
	20~23	工場製造部門	ヘッダー・ローリングのオーバーホール等による不良率・再加工の削減			
	20~23	工場製造部門	ブチ洗浄導入によるローリングの空打ちの防止とメッキ不良の低減			
	20~23	工場製造部門	不要残業の見直し(不良・再加工の防止と生産業務の効率化)			
	20~23	工場製造部門	照明設備の見直しをして、照明電力の削減を図る。(人感センサー付に変更)			
	20~23	工場製造部門	エアー漏れの削減とエアーブローの見直し			
	20~23	事務所部門	OA機器の待機電力を見直し、電力量の削減を図る。			
温室効果ガスの排出量等	20~23	事務所部門	不要残業の見直し(事務作業の効率化)			
	排出区分	基準年度(実績) (19)年度 (二酸化炭素換算)	目標年度(計画) (22)年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (計画)		
	A 事業所等排出区分	8,236.0 t	7,988.9 t	-3.0 %		
	B 輸送車両排出区分	t	t	%		
	C その他排出区分	t	t	%		
	排出合計	*1 8,236.0 t	*2 7,988.9 t	-3.0 %		
目標設定の考え方	原単位で1%削減する。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度(実績)	目標年度(計画)	増減率(計画)	
	全社	二酸化炭素換算 売上(百万円)	0.3512 t/百万円	0.3406 t/百万円	-3.0 %	
		二酸化炭素換算			%	
		二酸化炭素換算			%	
原単位の指標及び計画数値設定の考え方	当社売上を基準として、原単位を毎年1%削減する。					
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度(計画)				
		取組量等		(二酸化炭素換算)		
	森林の保全及び整備	(整備面積)	ha	(吸収量)		t
	府内産の木材の利用	(利用量)	m ³	(削減量)		t
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	(売電量)	kwh	(削減量)		t
		(熱供給量)	GJ	(削減量)		t
	グリーン電力の購入	(購入量)	kwh	(削減量)		t
削減量等合計			*3	t		
差引排出量 (排出合計-削減等合計)	基準年度(実績)	目標年度(計画)	増減率(計画)			
	*1 8,236 t	(+2)-(+3) 7988.9 t	-3.0 %			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	綾部市産業祭りに参加 綾部由良川花壇展に参加 家庭用食用油回収に参加 綾部水無月祭り後の清掃作業に参加					
特記事項	1. 城山工場・制御システム事業部において、平成20年度にISO14001の受審を行う。 2. 冷暖房については、夏28℃以上・冬18℃以下に設定するよう制定しています。 3. 従業員に環境教育を実施すると同時に公用車のアイドリングストップの実施を図っています。 4. 太陽光発電の導入に向けて、プロジェクトチームを立上げて素案を作ることを探しています。 5. グリーン購入を進めています。					

注1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

注2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。

注3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。

注4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標(生産数量、延べ床面積、走行距離等)を記入してください。

注5 「特記事項」には、平成2年度(1990年度)を基準とした排出量の対比や省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達採用、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。